



平成30年2月5日

各位

会社名 株式会社ジオネクスト
 代表者名 代表取締役社長 山田 哲嗣
 (コード: 3777、JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営企画管理本部長 森蔭 政幸
 (TEL. 03-6261-0081)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年2月5日開催の取締役において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、昨年2月14日の平成28年12月期決算発表時に開示した平成29年12月期(平成29年1月1日～平成29年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成29年12月期の連結業績予想の修正(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,246	166	66	63	0.50
今回修正予想(B)	1,297	57	18	15	0.14
増減額(B - A)	△ 949	△ 109	△ 48	△ 48	—
増減率(%)	△ 42.3	△ 65.7	△ 72.7	△ 76.2	—
(参考)前期連結実績 (平成28年12月期)	593	67	△34	△570	△12.04

2. 修正の理由

当社グループの中核事業の一つである再生可能エネルギー事業では、発電所の開発及びその代行、第三者への売却並びに売電事業等を行っております。当社グループの棚卸資産(1,284百万円:平成29年9月30日現在)であります発電所につきましては、第三者への売却に関して、発電所毎に発電所施設の条件や設備容量等を鑑みて発電所売却時の利益目標を設定し営業活動を行っております。当社が平成29年度12月期に計画しておりました当社連結子会社であるエリアエナジー株式会社が保有する太陽光発電所の売却について、発電所セカンダリーマーケットにおけるデューデリジェンスの複雑化等により、契約締結までに予想以上に時間がかかる傾向が強く、また、発電所売却による利益目標を確保することができる水準での取引が少なかったことから営業利益確保を重視し、当社が計画しておりました幾つかの発電所売却の内、一つの発電所売却による約10億円の取引を見送りました。これにより、発電所売却による利益目標以上の取引成立を平成29年12月期内に計上できなかったため、売上高、営業利益、経常利益及び株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益が、当初の見通しを下回る見通しとなりました。

平成30年度以降に、引き続き売電による安定した収益を上げつつ当社グループの中期的な観点での利益を上げる発電所売却取引の成立を目指した営業活動を継続する予定であります。

ご注意: 本資料に記載しております業績に関する予想値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので、予めご了解ください。

以上